



令和4年度

しまね建築・住宅コンクール



Architecture & Houses Competition
in Shimane



島根県



しまねの暮らし・住まい方

—新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して—





ごあいさつ

島根県知事 丸 山 達 也

島根県においては、人口減少、少子高齢化が進む中で、子育てに必要な環境づくりや地域コミュニティの維持、自然災害への対応など、様々な課題があります。

更に、新型コロナウイルス感染拡大による生活意識・行動の変化や、住宅・建築物のバリアフリー化や省エネルギー化等による性能の向上、空き家の有効活用など、暮らしを取り巻く課題やニーズは多様化しています。

こうした諸課題や暮らしの変化に配慮した住宅・建築物の整備、活動の事例を募集し、優れたものをモデル事例として広く県民の皆様を紹介するために、県では平成19年度から「しまね建築・住宅コンクール」を実施しています。

今年度は、建築物部門及び活動部門をあわせて44件の御応募をいただきました。審査委員会においてこれらの応募作品・活動に対する厳正な審議を行った結果、最優秀賞の「黒のアトリエ」をはじめとする、建築物10件、活動5件の合計15件の受賞作品・活動を選定いたしました。

受賞された皆様に心からお祝いを申し上げますとともに、今回受賞には至らなかったものの、魅力的な作品を御応募いただきました皆様、審査を行っていただきました委員の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

県では、今後とも、安全・安心で豊かな住生活の実現に向け、様々な取組を進めて参ります。県民の皆様におかれましても、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げ、御挨拶といたします。

令和5年3月

選考総評

審査委員長 細田 智久

令和4年度のしまね建築・住宅コンクールは、昨年度同様に「しまねの暮らし・住まい方―新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して―」をテーマとし、建築物部門と活動部門の募集を行い、44件の応募がありました。新型コロナウイルス感染症対策と経済的活動の再開とのバランスが苦慮される中、多くの応募があり、多彩な作品や活動に対する審査となりました。

第一次審査では、応募書類により、二次審査への通過作品を各部門あわせて24件選出し、第二次審査では全ての作品において現地審査を行った上で、審査委員会により、表彰候補15件を選定し、その中から最優秀賞1件、優秀賞7件、奨励賞7件を決定しました。

最優秀賞に選定した「黒のアトリエ」は、出雲市内に新築された木造一部鉄筋コンクリート造平屋建てのアトリエ兼収蔵庫です。黒色に塗装された県産杉板の外装、低く抑えられた軒先、点在する植栽、コンクリート打放しのアプローチ空間、適切に配置された照明器具など、配慮の行き届いたデザインの組み合わせが秀逸な作品です。住宅地の中に凛とたたずむこの建物は趣があり、道ゆく人々を心豊かな気持ちにしてくれる作品です。

優秀賞には、建築物部門から「思い出を継ぐ家」「道の駅 ごいせ仁摩」「出雲国二ノ宮 神在の社 佐太神社 佐陀神能舞殿」「Ichimura Project/TRATTORIA キツツキ」「ホテル一畑」と、活動部門から『「地域見守りたい!」地・学連携による空き家活用プロジェクト』「enun縁雲（松江ニューアーバンホテル コワーキングスペース）」の計7件を選定しました。これら優秀賞は、優れた建築デザインと共に、曳家・改修・増築の手法による再生、地域活性化、利用者や家族への配慮などに優れた創意工夫が見られた点を高く評価しました。

奨励賞には、建築物部門から「緑蔭山荘別邸」「四重奏の屋根」「とうぎ皮フ科クリニック」「清田の家」と、活動部門から「都野津町街歩きイベント “つぬさんぽ”」「津和野高校断熱改修ワークショップ」「子どもの本 つ〜ぽ」の計7件を選定しました。

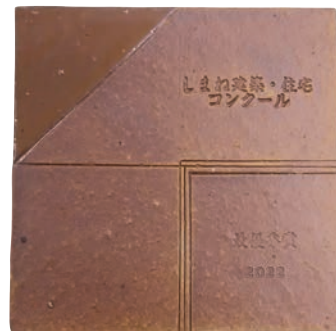
コロナ禍での生活も丸3年が経ちました。職場や学校、家庭内でも様々な気遣いが求められる新たな日常の中では、笑顔や安心感が生まれる暮らしと場所づくりが求められています。受賞された建築物や活動が今後のしまねの暮らしを支えるモデルとなることを期待しています。

令和5年3月

募 集
テーマ

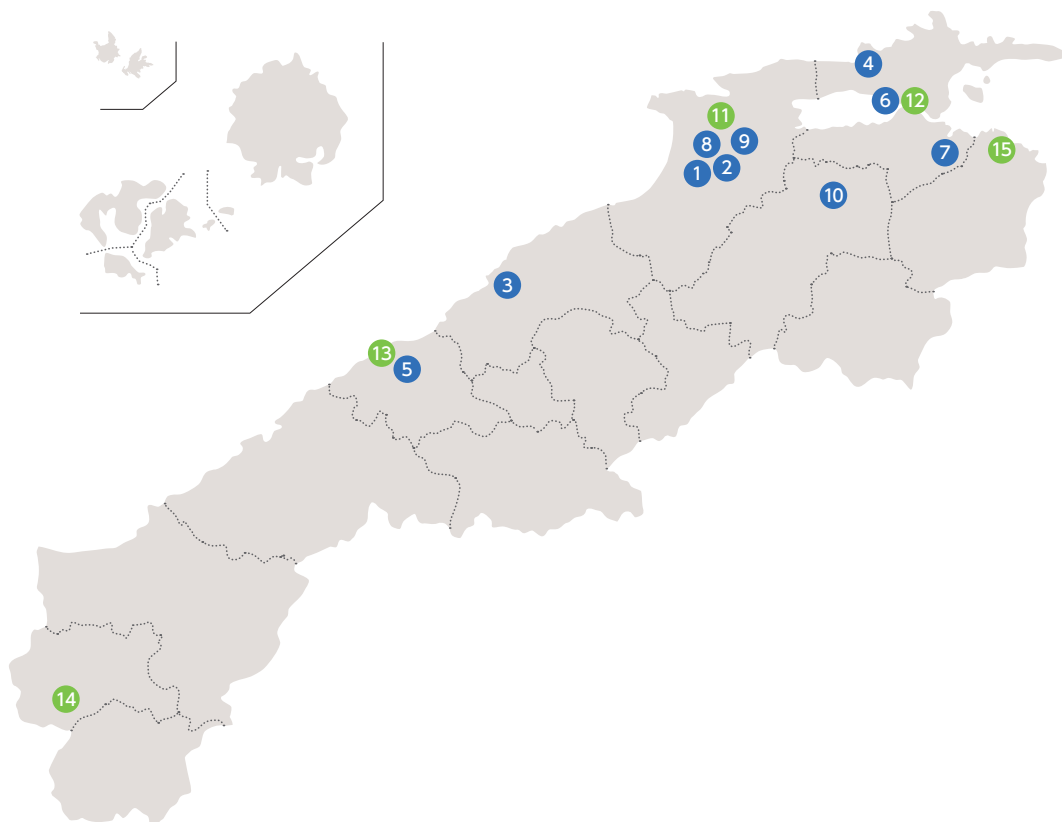
しまねの暮らし・住まい方

—新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して—



表彰銘板(石州敷瓦)

受 賞
物 件



【建築物部門】

- ① 黒のアトリエ
出雲市
- ② 思い出を継ぐ家
出雲市
- ③ 道の駅 ごいせ仁摩
大田市
- ④ 出雲国二ノ宮 神在の社 佐太神社 佐陀神能舞殿
松江市
- ⑤ Ichimura Project/TRATTORIA キツツキ
江津市
- ⑥ ホテル一畑
松江市
- ⑦ 緑蔭山荘別邸
松江市
- ⑧ 四重奏の屋根
出雲市
- ⑨ とうぎ皮フ科クリニック
出雲市
- ⑩ 清田の家
雲南市

【活動部門】

- ⑪ 「地域見守りたい!」 地・学連携による空き家活用プロジェクト
出雲市
- ⑫ enun 縁雲 (松江ニューアーバンホテル コワーキングスペース)
松江市
- ⑬ 都野津町街歩きイベント “つめさんぼ”
江津市
- ⑭ 津和野高校 断熱改修ワークショップ
津和野町
- ⑮ 子どもの本 つ〜ぼ
安来市

絵画にうちこむ画家の姿が感じられる美術館のようなアトリエ

黒のアトリエ



この建物は、県内出身の画家のアトリエ兼収蔵庫として出雲市内に新築されたものです。閑静な住宅地の環境に配慮し、切妻屋根の木造（一部鉄筋コンクリート造）平屋で建てられています。さらに、建物は前面道路から大きくセットバックされ、駐車場と樹木が配置されています。

鉄筋コンクリート打放しと黒い鉄骨柱でシャープにデザインされたアプローチ回廊を通して玄関に近づくと、黒色に塗装された県産材杉板張りの外壁が目に入り、玄関奥の内部回廊にもこの杉板張りが続いています。回廊はギャラリーとして画家の絵画作品が展示され、回廊の突き当たりは一面のガラスで、植栽と空が絵画のように出迎えてくれます。玄関左手のホール兼応接室は、木造の力強い構造がそのまま仕上げとして用いられ、開口部の腰壁部分に設けられた作り付けの木製ベンチに座れば、室内の大型絵画や中庭をゆっくりと鑑賞することができます。絵画制作用のアトリエは南側に面し、窓からは塀越しに近隣のお寺を囲む高木と空を見ることができます。建物の西側半分は収蔵庫で、無塗装のヒノキ合板を仕上材とすることにより湿度管理がされています。

室毎に適切なデザインと外部空間との繋がりを持つこのアトリエは、小さな美術館とも言える素晴らしい作品であると高く評価されました。（細田智久）





建築主 ▶ 個人

設計者 ▶ 株式会社 山根一史建築設計事務所

施工者 ▶ ヒロシ 株式会社



建物概要

- 所在地 / 出雲市
- 用途 / アトリエ
- 構造 / 木造一部鉄筋コンクリート造
- 工事種別 / 新築



今と昔を感じ、住まいの歴史をつなぐ空間

思い出を継ぐ家



この建物は、既存の旧家屋の和室部分を残して減築し、敷地内を曳家で回転移動させた後に2階建ての母屋を増築した作品です。

出雲市内の住宅密集地に立地しており、敷地の周辺環境を考慮した様々な工夫により建てられたことがうかがえます。

古くからある旧家屋の和室は、家族とこの建物の歴史が刻まれた場所であり、ここでの思い出を継ぐため、柱や天井、家具などはその趣を壊さないよう、丁寧に補修されています。外壁や外部建具などは新しいものを取り入れることで、歴史ある旧家屋とモダンな増築部分とを違和感なくつなぎ、調和が図られています。

また外部空間には、既存の庭木や庭石を残すことで思い出のある空間を残すとともに、新しい樹木を組み合わせ、新旧が融合する庭空間を形成しています。

この樹木が成長し、新しい思い出を継げるようになった姿を見に、また訪れてみたくなるような建物です。

(坂本拓三)

建築主 ● 個人

設計者 ● 有限会社 牧戸建築環境設計事務所

施工者 ● 株式会社 御船組



建物概要

- 所在地 / 出雲市
- 用途 / 住宅
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 新築



点から線、そして面へと広がる石見の新たな観光拠点 道の駅 ぐいせ仁摩



島根県では石見地方を中心に素晴らしい赤瓦景観が各地に見られますが、大田市仁摩町だけは、かつていぶし瓦を生産する瓦場があったとのことで、黒瓦屋根が美しい町並みの景観を形成しています。

このような特色ある地域景観のなかで建設された「道の駅ぐいせ仁摩」も、美しい黒瓦屋根の建物となっています。緩やかな扇状に配置されたこの建物は、遠近感により中央部の屋根が低く見えてしまうことを考慮し、中央部の棟部分を若干高くすることで、違和感のない綺麗な曲線の屋根に見えるよう施工されています。また、このことで瓦の重ね部分が軒先から棟にかけて緩やかな曲線を描いており、陰影による瓦屋根ならではの美しさも見るができます。

構造は、集成材を使わない市有林材の地元製材による木造建築物です。屋根を含め、施工時の工夫を随所に感じることができました。「地域に根ざした建築物」というコンセプトで設計・施工されたこの建物は、県内の建築物において、島根県らしさに特化した建築産業の発展に繋がることがうかがえます。

また、山陰道開通時には石見銀山の玄関口となる「道の駅ぐいせ仁摩」が、観光拠点として発展し、点から線、線から面へと石見地方の観光資源の拡がりにも寄与される施設になることを期待します。
(山本雅夫)

建築主 ● 大田市

設計者 ● 鮎屋工房・安藤建築設計室 設計共同体

施工者 ● 神門組・藤井工務店・稗田産業 特別共同企業体



建物概要

- 所在地 / 大田市
- 用途 / 店舗
- 構造 / 木造一部鉄筋コンクリート造
- 工事種別 / 新築

蔀戸や格子に宮大工の技術が光る優美な舞殿

出雲国二ノ宮 神在の社 佐太神社 佐陀神能舞殿



この建物は、松江市鹿島町の佐太神社境内にあり、国重要無形民俗文化財及びユネスコ無形文化遺産である「佐陀神能」が行われる奉納舞台を改修したものです。

2間・5間の木造平屋建てで、神社入口側の2間四方分が楽屋、神社本殿側の2間・3間分が舞台です。これまでは本殿との距離が近かったため、より多くの観客に見てもらえるように、曳家で2mほど本殿から離され、同時に基礎を新しくして耐震性の確保が行われました。

改修前の舞殿には窓等がなく吹きさらしの状態でしたが、維持管理や環境の改善のため、改修では新たに「蔀戸^{しとみど}」が設置されました。蔀戸の上半分は跳ね上げて吊り金物で固定し、下半分は床下側面に折り畳むことで、開閉の手間を最小にする独自の仕組みが採用されています。舞台に入ると柱上部の舟肘木が印象的で、照明器具には組子細工があしらわれ、その配線も目立たないよう工夫されています。さらに天井中央の目隠し格子の奥には、黒色に塗装された空調が納められています。

葺き替えられた銅板と優美に伸びる軒先によって、屋根自体が舞っているようにも見えます。舞手が集中できる環境を整えつつ、歴史を大切に丁寧な設計・施工が行われた作品です。

(細田智久)

建築主 ● 佐陀神能保存会

設計者 ● 石原社寺建築設計事務所

施工者 ● カナツ技建工業 株式会社



建物概要

- 所在地／松江市
- 用途／神社
- 構造／木造
- 工事種別／改修



里山の小さなレストラン

Ichimura Project / TRATTORIA キッツキ



TRATTORIAキッツキは江津市中心部から少し離れた里山にあります。

レストラン棟と住居棟をエントランスピロティで分節し、西側の傾斜地に張り出した約19mのバルコニーがこの2棟を繋ぐ構成となっています。

住居棟の1階は吹抜けのLDKとサニタリー、2階はLDKに面して設けたスタディカウンターとクローゼット収納で仕切られた3つの個室が並びます。中でも驚いたのは、トイレとバスルーム以外はドアがなくカーテンで仕切ること。そして壁2面がガラスドアと窓で構成された開放的な浴室は、床と壁と天井がFRP防水で仕上げられており、これもまた驚きと新たな発見でした。

レストラン棟は、エントランスピロティから見える景色と看板を兼ねた木引き戸が目を引きまします。レストランは食事をするための空間にしたいとの思いからトイレは店外に設置。造作や細部にオーナーと設計者のこだわりを感じまします。一方、店内は木目調と白を基調に、凝った印象はなく、シンプルに造られています。そのシンプルさが島根産の食材をふんだんに使った料理と周辺の美しい風景を味わえる豊かな空間を演出します。店を目指して足を運ぶ道程もきっと楽しい時間となるでしょう。

(福原昌代)

建築主 ● TRATTORIA キッツキ

設計者 ● 建築設計事務所 STILE

施工者 ● 有限会社 スエヨシ建設



建物概要

- 所在地／江津市
- 用途／店舗併用住宅
- 構造／木造
- 工事種別／新築



宍道湖湖畔のフラッグシップホテル

ホテル一畑



撮影／大竹央祐

地域に愛されてきたホテルを次の時代につなぐため、老朽化した西側の旧本館のみを解体し、旧東館を挟んだ反対側に新館を増築されました。

特筆すべきは、旧東館1階の耐震壁を撤去して新館部分と合わせた大規模なロビー空間を確保したことです。旧東館と新館とが違和感なく一体化されていますが、そのための耐震壁の撤去においては、綿密な構造補強計画によるものであったことがうかがえます。

また、新館ではエントランスをメインアプローチとなる南側だけでなく、北側にも設けることで、駅舎や市街地からの動線に配慮されています。

新館の客室は宍道湖に面した立地を最大限活かし、開口部を大きく設けることで、今まで以上に宍道湖の眺望を楽しめる計画となっています。内観は新館・旧東館ともに「一畑エレガンス」をコンセプトに、湖畔のシティリゾートにふさわしい明るく落ち着いたデザインが採用されて、外観も旧東館のボリュームを考慮した計画となっており、新館のガラス面に水平フィンを設けることで分節化し、違和感がないよう工夫されています。

対岸からみても、宍道湖周辺の景観を代表する建物であることがうかがえる作品です。

(坂本拓三)

建築主 ● 一畑電気鉄道 株式会社

設計者 ● 株式会社 三菱地所設計

施工者 ● 清水建設・一畑工業 共同企業体



建物概要

- 所在地／松江市
- 用途／宿泊施設
- 構造／鉄筋コンクリート造
- 工事種別／新築

緑陰に抱かれる非日常の宿

緑蔭山荘別邸



「緑蔭山荘別邸」はその名の通り、緑濃い谷間の集落の高台にある一棟貸しの宿です。母屋を建築主の家として利用し、離れを宿として改修、活用されました。

小川のせせらぎを聴きながら坂道を上り、敷地に足を踏み入れると、趣ある母屋の庭を横切る離れへのアプローチが目を引きまします。玄関廻りには植栽が施され、非日常への期待感が高まります。

離れの客室に入ると、西側の谷に面した幅3.6m、高さ2.0mの大きな開口部が目飛び込んできます。滴る緑一色に塗りつぶされたその景色は圧巻です。設計者はこの窓を一枚の絵に例えました。鳥根の豊かさを感じる空間に、という思いが伝わります。窓辺に近づくことで、その絵画は姿を変えていきます。正面で存在感を放つ山の地形、裾に向かって広がる集落の風景と人の営みを臨むことが出来ます。

室内はリビングから寝室まで一室の広々とした空間に、建築主の趣味である絵画やステンドグラスが飾られています。天井の梁を顕した、木の香りに満ちた空間です。

浴室は松江の桶職人が製作した直径1.2mの桶を浴槽とし、桶の高さと窓枠を揃えることで窓の外に広がる山の緑を空間内に取り込む工夫がされています。木の湯口から溢れるお湯と湯気が空間に満ちて、ここで過ごす時間は日常を忘れることが出来るでしょう。

「緑蔭山荘」という名に相応しい非日常がそこにあります。 (坪倉菜水)

建築主 ● 橘泉堂山口卯兵衛商店

設計者 ● 高橋翔太郎建築設計事務所 + 建築安倍

施工者 ● 株式会社 たみつ建匠舎



建物概要

- 所在地 / 松江市
- 用途 / 宿泊施設
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 改修



屋根で繋がる自由な空間

四重奏の屋根



四重奏の屋根の家は、まずアプローチの導入部分から訪れる人の心を躍らせます。

後方に広がる北山の稜線と交差しながら重なる方形の屋根。玄関へ歩を進めると左手に広がるオープンな芝生スペースと深い軒に抱かれたL型ウッドデッキ。訪れた際にはこのウッドデッキで楽しそうな住まい手さんと犬たちが出迎えてくれました。

重なり合う大小4つの方形屋根の下には、キッチン、リビング等のアクティブな空間と寝室、玄関、ガレージが配されています。各空間は大きさを変えながら斜め45度でその先の空間と繋がり、家族と犬猫たちはその動線上を自由に行き来して生活します。設計者が表現されたとおり星座のように、または結晶のように繋がる各空間が印象的で、その形状が外観に様々な表情を与えています。

一番大きな方形屋根の下は吹抜けのあるリビングスペースとキッチンスペースからなり、白木の穏やかな色合いと、暗色の天井の色の対比が美しい空間となっています。

屋根裏スペースに設けた和室は方形屋根の中心に位置し、天窓やスノコの床で1階との繋がりを楽しめます。この建物の一番の特徴である正方形の形状と屋根下に住まう感覚を最大限に楽しめる空間です。

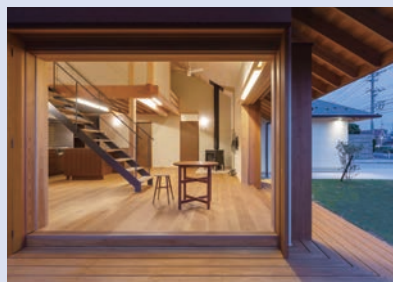
屋根に抱かれた空間で、犬猫たちと家族が自由に住まう、美しい家です。

(坪倉菜水)

建築主 ● 個人

設計者 ● 一級建築士事務所江角アトリエ

施工者 ● 有限会社 森山建築工業



建物概要

- 所在地 / 出雲市
- 用途 / 住宅
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 新築



昼夜で表情が変化する、蝶が舞うようなファサードを持つクリニック

とうぎ皮膚科クリニック



撮影／石井紀久

この建物は、出雲市内の幹線道路沿いに建つ、木造一部鉄骨造の平屋建てのクリニックです。配置計画は、南側の幹線道路沿いに建物を、奥・北側に駐車場とエントランスが設けられています。

幹線道路側の外観は、シンプルなボックス型で、クリニックのロゴマーク（四葉や蝶を思わせるデザイン）の形が無数にくり抜かれたアルミパネルが幅20mにわたって設置されています。このアルミパネルと建物外壁との間には、室外機などが納めてあり、建物周囲に設備があらわれないよう配慮されています。

北山を望む待合室は、幅約4m・奥行き15mの大きさがあり、白色を基調に清潔感を感じさせる空間にデザインされています。この空間は細い円柱形の鉄骨で屋根を支えることにより窓際を軽やかな印象とし、大開口から北側の安定した天空光を得ています。

処置室廻りは、医師2人による診察・治療スペースや流しなどがあるバックヤードを含め機能的な配置になっています。外装のロゴマークから南側の光が差し込み、処置室やバックヤードの内壁には蝶が舞うような光の模様が浮かび上がります。夜間には内部照明の光がロゴマークの形で幹線道路側に漏れ出すことで美しい夜景を作り出しています。

（細田智久）

建築主 ● 医療法人 とうぎ皮膚科クリニック

設計者 ● 株式会社 松山建築設計室

施工者 ● ヒロシ 株式会社



建物概要

- 所在地／出雲市
- 用途／診療所
- 構造／木造一部鉄骨造
- 工事種別／新築



連続する化粧垂木の下で2世帯・4世代が暮らす温もりある住宅

清田の家



この建物は、雲南市内で棚田が広がる集落の中の高台に建つ、木造の一部二階建ての住宅です。代々受け継いできた敷地に2世帯・4世代が共に暮らす住宅を新築したもので、若世帯は今回の建築を機に雲南市へUターンされたそうです。

玄関のある南側は深い軒先の回廊となっており、半屋外の縁側・土間を思わせる空間になっています。雪や雨も多い山陰の中山間地域の住宅への配慮が感じられます。建物中央の玄関は2世帯で共用し、東側に若世帯、西側に親世帯の住まいがあり、玄関両脇の壁を天井より低い位置にとどめることで、明かりや気配が世帯間で伝わるよう工夫されています。両世帯とも化粧垂木が綺麗にならぶ勾配天井となっており、木造の魅力を感じさせてくれます。

親世帯にある和室の南側コーナー部分の窓からは集落や棚田の情景を見ることができ、子どもたちが帰宅してくる様子も見えることでしょう。現地審査の際は、子どもたちが気兼ねなく両世帯の空間を行き来する様子を見ることができました。多世代で子育てや介護など、家族の様々な状況を支え合う、豊かな生活を優しく包み込む住宅です。

(細田智久)

建築主 ● 個人

設計者 ● 有限会社 三沢建設一級建築士事務所

施工者 ● 有限会社 三沢建設



建物概要

- 所在地／雲南市
- 用途／住宅
- 構造／木造
- 工事種別／新築

入居希望者が後を絶たない地域を見守るシェアハウス 「地域見守りたい!」地・学連携による空き家活用プロジェクト



とびっこハウスは出雲市鳶巣地区にある空き家を、地元、大学、行政等が連携して改修、活用を行ったシェアハウスです。

島根県立大学出雲キャンパスの学生数の増加による低家賃の住まいの不足や新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるコミュニケーションの減少、高齢化や空き家の増加による地域の活力低下等、様々な課題の解決への熱い思いが、この場所には込められています。

片付けから始まり、ワークショップを重ねることで、地元の意見を取入れ、2年かけて関係性を深められたこと、地元にまちづくり会社を設立し、次に繋がるノウハウや人材の蓄積を行ったこと、シェアハウスとしての住居の機能だけではなく、地域の見守りや交流スペースを兼ねていること。「空き家」の活用により解決できる課題を、妥協せず様々な角度から追い求められたことがこの場所を稀有なものとしています。

地元の方によるお料理教室やシェアハウスの家具のデザインコンペ、クラウドファンディングの返礼品の一つであるブルーベリーの収穫に学生も関わったこと、順番待ちの入居希望者など、様々な温かなお話をお聞きし、この場所でのエピソードが広がり、新たな場所へ波及していくのだと感じました。

(坪倉菜水)

活動実施者 ● 地・学連携による空き家活用
プロジェクト連携団体

主な活動場所 ● 出雲市





雲のように自由に人が集まり縁をつなぐコミュニティスペース

enun 縁雲 (松江ニューアーバンホテル コワーキングスペース)



この作品は、宍道湖沿いに建つホテルの2・3階をレストラン・宴会場からコワーキングスペースへリノベーションしたものです。

フロア内には、SNSなどにも利用できる専用の撮影スタジオが整備され、日本テレワーク協会からもトップレベルのセキュリティであると高く評価されるなど、地方にはめずらしい本格的なコワーキングスペースとなっています。

セキュリティや防音・プライバシーの確保が求められる個室は、北側にまとめられ、対照的に南側は宍道湖を一望できる開放的なラウンジなどが設けられています。

また、内装には石州瓦のタイルや地域の伝統工芸である組子細工をアクセントとして使用することで島根らしさを演出するとともに、繊細な植栽との相乗効果により、コワーキングスペースを本格的かつ親しみやすい空間としています。施設の稼働率も高く、ワーケーションにより都市部から訪れた人々と地元の利用者との新たなコミュニケーションの場となっています。

地元高校生の学習スペースとしての利用も視野に入れるなど、交流人口増加に向けた地域貢献性の高い取り組みであるとともに、建築物のデザインとしても高く評価でき、新たな空間づくりのモデルとなる取り組みです。(坂本拓三)

活動実施者 ● 浅利観光 株式会社

主な活動場所 ● 松江市



見慣れた街の魅力を再発見

都野津町街歩きイベント“つぬさんぽ”



この活動は、江津市都野津町で地元有志と島根職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ島根）住居環境科の教員、学生が主体となり、地域の魅力を多くの人々に知ってもらうため、古民家の活用や街歩きイベントなどを行うものです。

都野津町は、古くから市の西部地区における商業中心地として、また瓦の生産地として賑わい栄えてきた地域です。縦横に基盤の目のように張り巡らされた細街路に沿って商家などの古民家が今でも数多く残っており、それらの屋根は多くが明治から戦後までの登り窯で焼かれた石州瓦で葺かれ、文化財的価値があると感じるような、他の地域とは異なる石州赤瓦の景観が広がっています。

イベントは来街者が1,000人を超えるものに成長し、江津市内でも潜在的な観光資源として認識され、更なる発展が期待されています。

さらに学生による実習や卒業研究を兼ねた古民家改修など、年々実施件数が増加しています。木造への学びや、木造を知る機会が少ない現代の建築教育の中で、学生たちが地域の住宅産業や地域資源の活用に関わり、地域を守り発展させるような人材育成に繋がることを期待します。

（山本雅夫）

活動実施者 ● 都野津街並みの会

主な活動場所 ● 江津市



ツコウの挑戦

津和野高校 断熱改修ワークショップ



津和野町は島根県西部でも冬は寒く、夏は暑い地域。そんな地域にある津和野高校で実践されたのが教室の「断熱改修ワークショップ」です。

その概要は現状の教室内温度を計測・分析した結果をもとに改修する教室を選び、教室の天井裏と南面に断熱材を設置し、その壁面に木製建具をはめ込んだ二重窓を設置するというものです。2日間にわたるDIYの参加者は一般参加者も含め延べ90名以上だったそうです。

このプロジェクトの注目すべき点は、単なる教室の断熱改修ではなく、環境を学ぶための夜学を開催するなど、生徒や教職員、地元の建築関係者や有識者など産官学が連携し、年齢も立場も様々な人たちが協働したということでしょう。学習環境を改善するという共通目標に向けて、脱炭素化などの環境課題やその解決策を共に学び合い、具体的に取り組まれた地域発のバックカスティングの好例ではないでしょうか。

脱炭素と健康で快適な暮らしの実現は、過大すぎる目標を掲げるのではなく、自分たちで工夫し、持続可能な形で実践できることから始めるということなのだ、この活動記録から学びました。

(福原昌代)

活動実施者 ● 津和野高校断熱改修
プロジェクト実行委員会

主な活動場所 ● 津和野町



人々の新たなつながりを作り出す小さな書店

子どもの本 つ～ぼ



この活動は、安来港近くで商家の町並みが残る地区において、築140年の古民家の1階の一部を改修し、子ども向けの本を置く小さな書店を営まれているものです。子ども向けの本を通じて、子どもから高齢者まで、新しいつながりを生み出したいという店主の熱意が感じられます。

通学路でもある通りに面して設けられた大きな開口部は、気軽に入店できる雰囲気を作り出しています。内部空間は、かつての店の土間仕上げを活かすことで入口から段差なく入ることができ、古民家の空間を彩る吊り下げ照明や、どっしりとした木製本棚などが配置されています。土間空間は地域で活躍する手工芸作家の展示スペースとしても提供され、奥側の小上がりスペースは地域イベントにも使われています。

たたら製鉄の積出港の歴史を持ち、鉄問屋などが並ぶ町として賑わった通りも、時の流れと共にその商店は少なくなっています。その通りの入口にあるこの書店では、店主の明るい笑顔と共に、店を訪れる子どもや大人たちの賑わいが通りに溢れ出し、町の人々をつなぐ場が生まれています。（細田智久）

活動実施者 ●市ヶ坪裕子

主な活動場所 ●安来市



募集
テーマ

しまねの暮らし・住まい方

—新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して—

募集
要件

- (1) 島根県内において令和4年9月9日までに整備又は実施されたものであって、以下に該当するものです。
- (2) 応募は自薦・他薦を問いません。個人・団体・企業、自治体等どなたでも可能です。
- (3) 応募の部門は、「建築物部門」、「活動部門」の2種類があります。

建築物部門

概ね5年以内に建築（新築、増築、改築または移転）、修繕、又は模様替えされた建築物（建築物の一部またはその敷地を含む）であって、募集テーマに即した、以下のいずれかに該当するもの

- ① 建築主、利用者などに配慮したもの
- ② 地域特性を活かしたもの
- ③ 既存建築物を活用したもの
- ④ 環境に配慮したもの
- ⑤ 新たな生活様式への提案であるもの
- ⑥ 今後のモデルとして、波及効果が期待できるもの

活動部門

募集テーマに即した住生活に関連する取組や活動であって、以下のいずれかに該当するもの

- ① 地域特性を活かしたもの
- ② 地域住民への意識啓発に効果的なもの
- ③ 住民や地域に貢献しているもの
- ④ 積極的、継続的に取り組まれているもの
- ⑤ 新たな生活様式への提案であるもの
- ⑥ 今後のモデルとして、波及効果が期待できるもの

審査
経過

募集結果

募集期間●令和4年7月1日～9月20日

応募総数●44件

審査経過

第1次審査●書類審査により第2次審査の対象を選定（活動部門は全て第2次審査へ）

審査期間●令和4年9月30日～10月14日

選出件数●24件

第2次審査●現地審査の上、審査委員会により表彰候補15件を選定

現地審査●令和4年10月29日～11月19日

最終審査会●令和4年11月24日

選出件数●15件 【建築物部門】10件 【活動部門】5件

表彰式

開催日●令和5年3月7日（予定）

授与式●建築主又は活動実施者、設計者及び施工者に賞状を授与します。

また、建築主及び活動実施者に、副賞として表彰銘板（石州敷瓦）を贈呈します。

審査
委員

《審査委員長》 細田 智久（国立大学法人 島根大学 総合理工学部建築デザイン学科 教授）

《審査委員》 坂本 拓三（（一社）島根県建築士事務所協会 副会長）

福原 昌代（有限会社大石建築事務所 代表）

坪倉 菜水（（一社）島根県建築士会 専務理事）

山本 雅夫（江津市建設部門 参事）

第2次審査対象一覧

●建築物部門

名称	所在地	名称	所在地
七尾の家	益田市	ホテル一畑	松江市
給下の家	雲南市	三角屋根の家（ローコストなコンパクトハウス）	松江市
清田の家	雲南市	黒のアトリエ	出雲市
ビレッジプライド-ゲストルーム	邑南町	NAGOMI HOUSE	出雲市
美郷町サテライトオフィス「みさと。ネスト」	美郷町	道の駅 ごいせ仁摩	大田市
四重奏の屋根	出雲市	出雲国二ノ宮 神在の社 佐太神社 佐陀神能舞殿	松江市
思い出を継ぐ家	出雲市	緑蔭山荘別邸	松江市
新出雲造りの植物共生住宅	出雲市	800年の歴史を受け継ぐ、現代版無垢檜の舞台	海士町
Ichimura Project/TRATTORIA キツツキ	江津市	とうぎ皮フ科クリニック	出雲市
寄り添う家	出雲市		

●活動部門

名称	所在地
「地域見守りたい!」地・学連携による空き家活用プロジェクト	出雲市
都野津町街歩きイベント “つぬさんぼ”	江津市
津和野高校断熱改修ワークショップ	津和野町
enun 縁雲（松江ニューアークホテル コワーキングスペース）	松江市
子どもの本 つ〜ぼ	安来市

過去の受賞作品・活動一覧

平成19年度

- 〈最優秀賞〉
- 松江市雑賀八区町内会救助隊（松江市）
- 〈優秀賞〉
- しまねの木の家（松江市）
 - 安国寺本堂改修工事（松江市）
 - 奥谷町東区防災隊の活動（松江市）
- 〈奨励賞〉
- 古民家改修「囲いの家」
 - 附帯屋根瓦工事耐震化及び耐震改修
 - ポートピア松江ビル（松江市）
 - 岩田邸（安来市）
 - 松江しんじ湖温泉駅（松江市）
 - 災害避難所におけるプライベートルームスペース「6家族のためのささやか安心空間」の試作および組立てマニュアルDVD制作事業

平成20年度

- 【設計・工事・技術提案部門】
- 〈奨励賞〉
- JR安来駅 観光交流プラザ（安来市）
 - 海士中学校工改修（海士町）
- 【防災活動部門】
- 〈奨励賞〉
- 「耐震改修モデル設計による地域学習会」への参加を通じた耐震診断技術の習得及び耐震意識の啓発
 - わが家の耐震改修工事

平成21年度

- 【技術部門】
- 〈優秀賞〉
- 菱浦魚集緑地広場整備（菱浦蔵改修工事）（海士町）
- 〈奨励賞〉
- 美保関橋津屋改修工事（古民家）（松江市）
 - K邸（松江市）
 - 本妙寺改修工事（出雲市）
- 【活動部門】
- 〈特別賞〉
- 地震防災ポスター（島根大学教育学部附属小学校）

平成22年度

- 【技術部門】（リフォーム工事）
- 〈優秀賞〉
- 時をつなぐ家（出雲市）
- 〈奨励賞〉
- 石見瓦再生の家（鹿足郡）
 - 古民家劇的大改造（松江市）
 - A邸増改築工事（松江市）
- 【技術部門】（新築工事）
- 〈奨励賞〉
- 木の香の家（K邸）（浜田市）
- 【活動部門】（地域防災活動）
- 〈優秀賞〉
- 防災活動（地震防災訓練）（松江市）
- 〈奨励賞〉
- 緊急地震速報を活用した県内初の避難訓練（松江市）
 - 岡の目地区防災訓練（松江市）

平成23年度

- 【建築物部門】
- 〈最優秀賞〉
- ワークくわの木江津事業所（江津市）
- 〈優秀賞〉
- 渡橋の家（出雲市）
 - 母里の家（安来市）
 - カイダナン ノイエ（松江市）
- 〈奨励賞〉
- 「家族の健康を守る家」K邸（松江市）
 - パティオのある家（出雲市）
 - 五箇小学校木造校舎耐震改修（隠岐の島町）
 - 石州瓦の家（大田市）
 - 「築後139年を住み継ぐ、古民家再生」（益田市）

【活動部門】

- 〈奨励賞〉
- 人間交流センターを舞台に広がる都市交流活動（雲南市）
 - 地元の木材を生かした読書空間づくり活動（海士町）
 - 平成23年度法吉地区防災訓練（松江市）
 - 街の魅力を再発見するまちあるき企画の運営（松江市）

平成24年度

- 【建築物部門】
- 〈最優秀賞〉
- コクバンの家（松江市）
- 〈優秀賞〉
- 空に向う家（松江市）
 - O邸（雲南市）
 - 新しい出発「坂の下café morikame」（出雲市）
- 〈奨励賞〉
- 先人の技術を受け継ぐ家（安来市）
 - 漆喰の家（出雲市）
 - 「一畑電車大社前駅」の新しいかたち（出雲市）
 - そらうみの家（浜田市）
 - 潮騒の住処（益田市）
- 【活動部門】
- 〈奨励賞〉
- 避難所運営体験の実践（出雲市）

平成25年度

- 【建築物部門】
- 〈最優秀賞〉
- 家族が繋がる3世帯住宅（益田市）
- 〈優秀賞〉
- 古志原の家（松江市）
 - 浜田市立中央図書館（浜田市）
 - Traditional Style（出雲市）
 - 北堀のいえ 民家再生（松江市）
 - 見晴らしの家（松江市）
 - 段々畑の家（出雲市）
 - 食事処 小望月（出雲市）
- 【活動部門】
- 〈奨励賞〉
- 《訪れる場所作り》佐世だんだん工房（雲南市）
 - 大久地区災害対策活動（隠岐の島町）
 - 奥出雲町わがこ再発見ワークショップ（奥出雲町）

平成26年度

- 【建築物部門】
- 〈優秀賞〉
- かずと会館（安来市）
 - 土間と大黒柱の有家（益田市）
 - のび・のび・のび（安来市）
- 〈奨励賞〉
- 中庭のあるローコスト住宅（出雲市）
 - 求院の家（出雲市）
 - ギャラリー記田屋（出雲市）
 - ふるさと定住の古民家再生（安来市）
 - 奥谷の家（松江市）
 - 大田の家（大田市）
 - 古民家DIY（松江市）
 - 外中原町の2世帯住宅（松江市）
- 【活動部門】
- 〈奨励賞〉
- まちなか再生拠点 オープンスペース ichi（出雲市）
 - 旧堀氏庭園活用協議会（津和野町）

平成27年度

- 【建築物部門】
- 〈最優秀賞〉
- 安来切川の家（安来市）
- 〈優秀賞〉
- 土縁の家（奥出雲町）
 - 抱陽の家（益田市）
- 〈奨励賞〉
- 海士町立海士小学校（海士町）
 - 凹みの家（松江市）

- どま・まど・どま（松江市）
 - 滑の家 中間領域を持つ二重断熱の家（邑南町）
 - 姫原の住宅＋事務所（出雲市）
 - 横浜町の家（松江市）
- 【活動部門】
- 〈優秀賞〉
- 平成郷蔵普請（江津市）
 - 三田市ラバ ～空き家再生プロジェクト～（雲南市）

平成28年度

- 【建築物部門】
- 〈最優秀賞〉
- 善徳寺本堂（雲南市）
- 〈優秀賞〉
- 稗原の家（出雲市）
 - ゆめの森こども園…だいかそくが集う家（出雲市）
- 〈奨励賞〉
- 抱陽の家2（益田市）
 - 外中原の家（松江市）
 - Re：佐白の家（奥出雲町）
 - 海士町立福井小学校（海士町）
 - 丘の上の家（松江市）
 - 灰色の家（出雲市）

平成29年度

- 【建築物部門】
- 〈最優秀賞〉
- 広瀬基督教会（安来市）
- 〈優秀賞〉
- 八川の家/量カフェ（奥出雲町）
 - T様邸個人住宅新築工事（松江市）
 - 「城下町」N邸（松江市）
- 〈奨励賞〉
- 日本赤十字社 益田赤十字病院 院内保育所（益田市）
 - 三刀屋の改修（雲南市）
 - 蔵 懐古空間 一花（雲南市）
 - 松江冷機株式会社 新社屋新築工事（松江市）
 - さぎの湯荘 別邸 鷺泉（安来市）
 - 家具師の家（出雲市）
 - 出雲1邸（出雲市）
 - 町屋のキッチン（出雲市）
- 【活動部門】
- 〈奨励賞〉
- 井原を知る勉強会（邑南町）

平成30年度

- 【建築物部門】
- 〈最優秀賞〉
- 大橋川河畔の家（松江市）
- 〈優秀賞〉
- ひゃくどみクリニック（出雲市）
 - 古民家オフィスみらいと奥出雲（奥出雲町）
 - 赤江の家（安来市）
- 〈奨励賞〉
- 茅葺き屋根のある家（出雲市）
 - 隅木の家（浜田市）
 - 大屋根の家（出雲市）
 - 帯刀さんの家（出雲市）
 - 四姉妹の家（出雲市）
 - サクニマス交流センター（吉賀町）
- 【活動部門】
- 〈奨励賞〉
- NPO法人ひらた空き家再生舎（出雲市）
 - 矢上駅（出雲市）
 - 住民と学生の参加による「隠岐の島町NOGINOVIハウス」改修事業の取り組み

令和元年度

- 【建築物部門】
- 〈最優秀賞〉
- 日貫一日 安田邸・一掛（邑南町）
- 〈優秀賞〉
- 温泉津の住宅（大田市）
 - 中庭を持つ静謐な家（益田市）

- 〈奨励賞〉
- PATISSERIE SUBSTANCE（出雲市）
 - LEON building（出雲市）
 - 段床のある薔の家（雲南市）
 - 島根県立飯南高校寄宿舎【月根尾寮】（飯南町）
 - 松江堀川の家（松江市）
 - 宗教法人神慈秀明会 松江出張所（松江市）
 - 黒の古民家（安来市）
- 【活動部門】
- 〈奨励賞〉
- 大学生による美保関古民家改修プロジェクト（松江市）
 - 書斎庵（個人図書室）（松江市）
 - 江津駅前ビルのリノベーション（江津市）

令和2年度

- 【建築物部門】
- 〈最優秀賞〉
- 光幼保育園（出雲市）
- 〈優秀賞〉
- 願い雛ミュージアム（出雲市）
 - 神名火山の古民家（出雲市）
 - 日原にぎわい創出拠点「かわべ」（津和野町）
 - Mー邸（松江市）
 - 郡山のレストラン（邑南町）
- 〈奨励賞〉
- 雲南の方形屋根（雲南市）
 - 中庭を囲む平屋（出雲市）
 - 高瀬川の家（出雲市）
 - RISTORANTE MIA PAESE ～ 私の故郷（浜田市）
 - 方杖の家（邑南町）
 - 徳應寺納骨堂 無量寿堂（安来市）
 - 西ノ島町コミュニティ図書館「いかにあや」（西ノ島町）
- 【活動部門】
- 〈優秀賞〉
- 天神127（松江市）
- 〈奨励賞〉
- カフェ&ベッドうづい通信部（邑南町）
 - ショッピングリハビリ（ひかりサロン）（雲南市）
 - アートビレッジ構想実現グループ（古典技法絵画研究所・親木遊空倶楽部）（雲南市）
 - コミュニティカフェ Orange（川本町）
- 〈特別賞〉
- 蔵：Re（松江市）

令和3年度

- 【建築物部門】
- 〈最優秀賞〉
- 湖畔の家（松江市）
- 〈優秀賞〉
- 「専光寺」鐘樓門（益田市）
 - 株式会社シーエスエー 新社屋新築工事（出雲市）
 - 雲南古民家2021（雲南市）
 - Entò Annex NEST（海士町）
 - 古民家カフェ「茶と靴 梅田屋」（邑南町）
- 〈奨励賞〉
- Y邸 新築工事（出雲市）
 - いわみ温泉「霧の湯」（邑南町）
 - 西ノ島町庁舎（西ノ島町）
 - なかのや旅館（大田市）
 - ひよし保育園（松江市）
- 【活動部門】
- 〈優秀賞〉
- つどえる拠点&ゲストハウス コイサイド（邑南町）
- 〈奨励賞〉
- 空き家で人をつなぐ（ヨコバマcoffee、よこばまギャラリー）（松江市）
 - 栗寅（大田市）
 - どっこい舎（松江市）
- 〈特別賞〉
- 蔵宿 うずまき（奥出雲町）
 - レンタルスペース&キッチン 金吉屋（奥出雲町）
 - 禾と恵に咲くお宿 まつ（奥出雲町）

《主催》 島根県

《後援》 (一社)島根県建築住宅施策推進協議会

(一社)島根県建築士会、(一社)島根県建築士事務所協会、(一社)島根県建設業協会、
(一社)島根県建築技術協会、(一社)島根県住まいづくり協会、(一社)島根県建築組合連合会、
(一社)島根県電業協会、(一社)島根県管工事業協会、(一社)島根県浄化槽協会、(一社)島根県木材協会、
石州瓦工業組合、島根県建具協同組合、協同組合建築技術センター、(一財)島根県建築住宅センター、
(公社)全日本不動産協会島根県本部、島根県畳事業協同組合、(一社)日本塗装工業会島根県支部

令和 5 年 3 月発行

島根県土木部建築住宅課